

法華經題目抄

御書全集
編年体御書

943卷一 12行目、13行目
298卷一 11行目、12行目

妙みようと申もうす事ことは開かいと云いう事ことな

り世せけん間に財たからを積つめる蔵くらに鑰かぎな

ければ開ひらく事ことかたし開ひらかざれ

ば蔵くらの内うちの財たからを見みず

通解

妙みようとは、開ひらくといふことである。

世せけん間の例たとえで言いえば、財ざいほう宝を積つんである蔵くらも、鍵かぎがなければ開ひらくことはできない。開ひらかなければ蔵くらの中なかの財ざいほう宝を見みることはできないのである。